

鎌ヶ谷市市民活動推進センターだより

発行：鎌ヶ谷市市民活動推進センター 発行月：平成 25 年 2 月 No. 29



近年、小中学校では「教育の情報化」の重要性がうたわれ、電子黒板やプロジェクター、デジタル教材や校務システムなど、様々な情報機器が導入されています。そのような環境を円滑に運営し、授業に活用していくには、教員だけでなく高い専門的知識と豊富な経験を持った人材の支援が必要です。

「ITサポートありのみ」は2002年から市民団体として、鎌ヶ谷市の小中学校を中心に情報機器等の活用、情報モラル教育等のICT支援活動を行っています。メンバー全員に子どもがおり、ICTのスペシャリストとしてだけでなく、母親の視点も兼ね備えた支援ができることが大きな特徴です。

また学校以外にも、地域と一体となり「在宅ワークセミナー」や「夏休み子どもパソコン講座」、「写真整理術講座」等、情報活用に関する講座も開催してきました。2011年は「東日本大震災復興支援チャリティ講座」を開催。集まった義援金で福島県の小学校へデジタルカメラを寄贈し、その支援活動に対し文部科学省より感謝状をいただきました。

「ITサポートありのみ」は昨年結成して10年を迎えました。これからも子どもたちのより良い未来のために、情報教育を支えていきたいと思っています。「ITサポートありのみ」では、一緒に活動してくれるメンバーを随時募集しています。パソコンが好きな方、子どものICT教育（パソコンやメディアを組み合わせた教育）に興味がある方、人に教えるのが好きな方、これからWordやExcelなど本格的に勉強していきたい方など大歓迎です。ご興味のある方は、arinfo@it-arinomi.comまでお気軽にお問合せ下さい。

- 表紙の言葉と写真 ITサポートありのみ（佐野真理加さん）
- 市民活動団体に聞く 鎌ヶ谷市放射能対策市民の会

市民活動団体に聞く

鎌ヶ谷市放射能対策 市民の会

酒井さん、今村さんに聞きました

最初は、SNS（インターネット上のソーシャルネットワークサービス）での情報交換でした。2011年5月でしたね、まだ東葛地域の放射能汚染が広く知られる前で、少しずつ、汚染に気づく人が増え始めた時期でした。SNS上での情報交換の中で、周辺地域の情報なども少しずつわかってきました。そこで、東葛6市の市民合同（千葉県東葛地域の子供たちを放射能汚染から守ろう）で、各市に計測、除染、放射線対策を求める署名を集める動きになり、各市の署名活動の代表を探していたんです。鎌ヶ谷市でも誰か・・・、ということで、他市に遅れてはいけない、と思い、私（今村）が手を挙げました。まわりの人に声をかけて、栗野コミセンでの最初の集まりには10人ほどの仲間が集まってくれました。署名を集めて、清水市長に提出し、「全力で取り組みます」とお答えいただきました。そういった流れで、「鎌ヶ谷市放射能汚染から子供たちを守る会」として団体活動へとつながっていきました。



署名提出の前ですが、他市の対策の動きもいろいろ見えてきて、鎌ヶ谷だけ遅れをとってはいけないと、市役所に要望に行きました、アポなしで（笑）市役所には書類を取りに何度か行ったことのあるくらいで・・・、どこに行けばいいかもよくわからず・・・。とても大変でしたが、環境課とのお話で、「なんとかしていきたいので、いっしょにやりましょう」と言っていただき、他市では「（当時の）国の基準（年間20ミリシーベルト）を下回っているので問題ない」という考えが主流だったので、安心と手ごたえを感じました。

これまでの活動

| | | | | | |
|---------------|--|--------------------------------|------------|---------------------------|---------------|
| 2012/7/20 | 給食、学校・園生活の意見交換会(学校教育課、こども課) | 市役所 | 2011/11/1 | 会の名称を「鎌ヶ谷市放射能対策 市民の会」に変更 | |
| 2012/7/19 | 健康対策の意見交換会(健康増進課) | 市役所 | 2011/11/1 | 空間線量測定について、環境課と意見交換 | 市役所 |
| 2012/7/18 | 「原発事故、放射能について」のお話会 | 自然派カフェ 森の学校(リタジネ) | 2011/10/27 | 鎌ヶ谷市主催の除染作業参加 | 鎌ヶ谷市制記念公園 |
| 2012/7/9~13 | 「2012 かまがや環境パネル展」に出展 | 鎌ヶ谷市役所1F市民ホール | 2011/10/26 | 定例会(会の運営について) | 北中沢コミュニティセンター |
| 2012/6/24 | 映画「内部被曝を生き抜く」上映会 | 鎌ヶ谷市まなびプラザ | 2011/10/16 | 環境フェアに参加 | 市役所 |
| 2012/6/5 | 鎌ヶ谷市給食担当部署との意見交換会 | 市役所 | 2011/10/11 | 対策室との意見交換 | 市役所 |
| 2012/5/23 | 市の放射線対策室と市民の会が合同で、公園の放射線量測定 | 西佐津間公園 | 2011/10/5 | 対策室との意見交換 | 市役所 |
| 2012/5/16 | 市の放射線対策室との顔合わせ | 市役所 | 2011/10/4 | 意見交換会 | 会員宅 |
| 2012/5/15 | 「原発事故、放射能について」のお話会 | 自然派カフェ 森の学校(リタジネ) | 2011/9/30 | 親睦会 | 某所 |
| 2012/2/1 | 公共施設に情報誌を設置 | 公民館6箇所、コミュニティセンター6箇所、児童センター2箇所 | 2011/9/28 | 意見交換会 | 北中沢コミュニティセンター |
| 2012/2~3 | 団体登録が認定。 ・市民活動推進センター ・男女共同参画関係団体 ・イオン傘下の黄色いレシートキャンペーン | | 2011/9/26 | 対策室との意見交換 | 市役所 |
| | | | 2011/9/10 | 意見交換会 | 会員宅 |
| | | | 2011/8/10 | 勉強会 | 栗野コミュニティセンター |
| | | | 2011/7/22 | 「鎌ヶ谷市放射能汚染から子供たちを守る会」発足 | |
| 2012/2/24 | 副市長との面会。 | 市役所 | 2011/7/22 | 環境課との除染実験、環境課による勉強会 | 鎌ヶ谷市制記念公園 |
| 2012/2/17 | 「汚染状況重点調査地域」に関する説明会。環境課との意見交換 | 市役所 | 2011/7/20 | 市長面会、要望書提出(放射能対策全般) | 市役所 |
| 2012/2/16 | 給食についての鎌ヶ谷市との意見交換会。 | 市役所 | 2011/7/10 | 環境課との除染実験 | 丸山児童公園 |
| 2012/1/13 | 鎌ヶ谷市役所との意見交換会 | 新鎌ヶ谷ふれあい公園 | 2011/7/9 | 勉強会 | 中央公民館 |
| 2011/12/20/21 | 鎌ヶ谷市役所との意見交換会 | 市役所 | 2011/7/5 | 環境課との除染実験 | 新鎌ヶ谷ふれあい公園 |
| 2011/11/30 | 放射能対策に関する12市合同質問書、市民への回答と意見交換 | 鎌ヶ谷市役所隣 総合福祉センター6階 大会議室 | 2011/6/27 | 市長面会要望、環境課と意見交換 | 市役所 |
| 2011/11/22 | 副市長と面会 | 市役所 | 2011/6/6 | 東葛地域の子供たちを放射能汚染から守ろうの会に参加 | |
| 2011/11/10 | 学校給食、学校生活について、市と意見交換 | 市役所 | | | |

2011年7月に、環境課・公園緑地課と協働で「新鎌ふれあい公園」の一角で除染の実験を行いました。その後、丸山児童公園、市制記念公園でも行いました。その当時、行政と市民の対立が、各地で表面化してきた時期だったので、市民と行政の協働のケースとして民放の人気番組で紹介されました。



子供たちのために、と思い、動き始めてまもなく2年ですが、とても長かったように感じています。市に要望書や要請書を出すのも、市議会議員さんとお会いするのも、市議会を傍聴するのも、初めてのことばかりでしたから（笑）

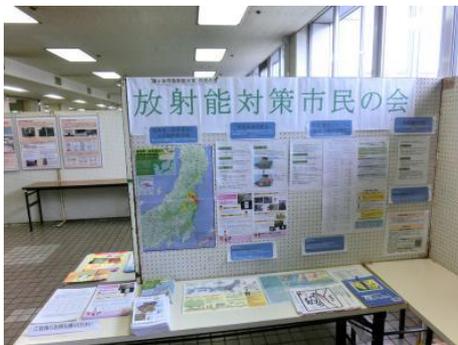


この問題は短期的に解決するものではないので、何かバンッ!!とやっておしまい、とはいかないと思っています。

私たちの会の活動の大きな目的は、鎌ヶ谷の汚染の状況を知ってもらい、自分でできる防護策をとってもらいたい、無駄な被ばくはしてほしくない、ということなんですね。

鎌ヶ谷市は、文部科学省が作った副読本だけではなく、市が独自に作った小中学校向けの副読本を作ってくれたんです。ただただ安全です、というだけでなく、どういうところに気をつけなくてはいけないかを書いてあるものなんです。

子どもたちの健康調査をきちんと制度として確立してもらえるように、近隣市の団体の方々とのネットワークで、また千葉県内だけではなく茨城県の団体ともネットワークしながら、「原発事故・子ども被災者支援法」の地域指定への働きかけなどに取り組んでいます。



会として、こうなりたいという希望は、活動しなくていい（笑）・・・というようになればいいな、と。当たり前でできることをするように・・・、日焼けを避けるように、（しなくていい）被ばくを避けようよという・・・。市民も市民でできることをし、行政も行政ができることをする・・・、そうなるといいな、と思っています。なにか不安なことがある方はご連絡ください。解決はできないかもしれませんが、一緒に考えることはできるかと思えますから・・・。

（お話・鎌ヶ谷市放射能対策市民の会 酒井さん、今村さん）

◆ 鎌ヶ谷市放射能対策市民の会では、市民の皆様以下のことを行なっています。

【市民への情報発信】

- ・公園の放射線量測定マップを含む情報冊子を公民館、コミュニティーセンターに設置
- ・無料メールマガジン
- ・ミニ冊子作成（連絡いただければ、無料で差し上げます）

【放射線量の測定会】

- ・公園や道路を測定します。市の職員と協働開催の場合もあります。

市民提案協働モデル事業・サポート講座

鎌ヶ谷市では、協働を推進し、地域社会の課題の解決を目指すために、市民提案協働モデル事業を募集しています。このサポート講座では、実際に使用する「協働事業提案書」をもとに、協働事業の企画ポイントや、提案内容をきちんと伝えるコツなどを学んでいきます。

一般の助成金申請や事業計画等の作成にも応用できる講座です。

- 日時： 平成25年3月16日(土) 13:30~15:30
 場所： 生涯学習推進センター（まなびいプラザ）2階 会議室1
 講師： 矢代 隆嗣氏 (株)アリエールマネジメント ソリューションズ代表
 定員： 30名程度（申込先着順）
 参加費： 無料
 保育： 5名（1歳10カ月以上の未就学児。保険代など一人200円）
 保育については2月28日（木）までにお申し込みください。
 申込： 市民活動推進課 445-1141（内）205
 または、メール： sikatu@city.kamagaya.chiba.jp
 ※参加者の氏名（所属団体名）・電話番号を明記



鎌ヶ谷市市民提案協働モデル事業とは

少子高齢化の進行や環境問題の深刻化、安心安全対策など私たち市民生活を取り巻く環境が変化している中で、行政は多様化する市民のニーズすべてにこたえていくことは限界があります。

一方、市民活動団体は専門的で柔軟性があり、様々な課題に対応し、それを打開する大きな力を持っています。そのような中で「市民活動団体と市が、相互に対等な関係のもと、互いの特性や立場を十分理解し認め合いながら、それぞれの役割と責任のもとに、地域社会に共通する課題の解決や目標の実現に向けて協力する」といった協働の実践として、市民団体の提案を取り入れた市民提案協働モデル事業を実施しています。



市民活動ガイドブック 動員の革命

ソーシャルメディアは何を変えたのか
津田 大介(中公新書ラクレ)

(当センターで閲覧・貸出しています。)

ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディア（SNS=ソーシャル・ネットワーキング・サービス）が話題になって久しくなりましたが、震災時の有用性や、「アラブの春」などの民主化への働きなど、当初思っていた以上に、社会への有効な影響が顕在化しています。この「動員の革命」では、そういったソーシャルメディアの働きのこれまでとこれからが、簡潔にまとめられています。

「ソーシャルメディアの登場で、NPOの運営自体も安価で柔軟に進むようになります。社会を変えたい、多くの人を巻き込みたいと思ったときに、今まではNPOをつくるか、社会企業（ソーシャルビジネス）をするくらいしか道はありませんでした。」という書き出しで始まる『NPOの機能をソーシャルメディア』など、これからの市民活動を考えるうえで参考になる一冊です。

スタッフから一言

当センターでは、当センターへ登録している市民活動団体の情報をはじめ、近隣で開催されるセミナー、イベント等の情報もご案内しています。市民活動に関する図書も閲覧・貸出をしています。ぜひお気軽にセンターへお越しください。スタッフ一同お待ちしております。(林)

今号は如何でしたでしょうか。市民活動を行っている方はもちろん、活動に興味を持たれた方や自分も参加したいと思われた方、是非当センターにお立ち寄りください。皆様の活動をサポートするため様々な情報を揃えてお待ちしております。(石井)

鎌ヶ谷市のセンターに関わり、もうすぐ一年になります。市内で活躍している、多くの市民活動団体の方にお話を伺うことができました。もっとも皆様の声をお聞かせしたいと思います。「市民自治」に向けて、「住民」から「市民」へという意識の変化こそが、鎌ヶ谷のまちづくりの原動力になります。これからも、どうぞよろしくお祈りします。(プロジェクトマネージャー・加納)